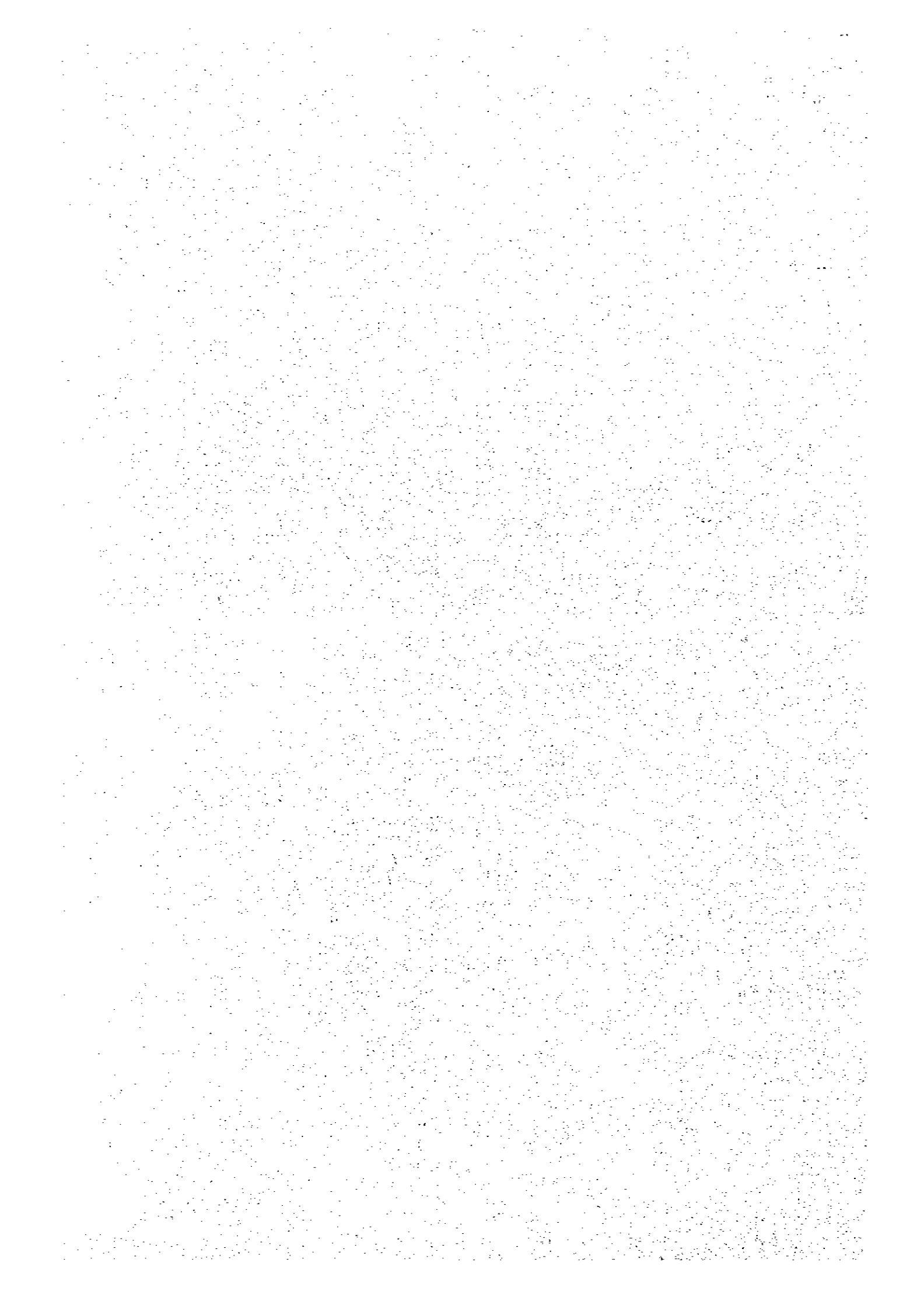


景觀保全



## 1. 景観概要

### 1.1 漓江流域の景観特性

桂林地区の景観区域としては地形と地質から、おおよそ花崗岩、頁岩、板岩を中心とする桂北景観区域、カルスト地形で自然山水風景を中心とする桂林・陽朔景観区域、平坦な地形で田園風景を中心とする平楽・恭城農風景区域の3区域に分けられる。景観保全調査の対象区域である桂林・陽朔景観区域は、漓江を中心とした桂林市から陽朔までの86km<sup>2</sup>の範囲内であり、市街地（秀峰区、疊彩区、七星区、象山区）と陽朔県がある。この区域は行政区域と景観特性から市街区域と郊外区域に分けられる。

漓江を中心とする桂林・陽朔の景観区域は、長い年月に渡って厚い石炭岩が高温多雨と水の流れによって浸食され、典型的なカルスト地形となり、「千峰、野をめぐって立ち、一水、城を抱き流れる」という独特な風景が形成している。また、清い漓江は桂林から陽朔までの間にさまざまな奇峰を縫って流れ、兩岸の緑豊かな峰嶺と寄り添い、美しい奇観を呈す。これらの景観は「山青、水秀、洞奇、石美」という4つの特徴として知られている。

桂林の自然山水景色は時間、季節、気候により、それぞれの形象美、色彩美、動態美が異なる。一年の四季、一日の朝、昼、夕、夜と漓江は尽きぬことなく人々に自然の美を興える。春には、帯をおび、布をまとい、霧雨に迷う。夏には、青い空に清い水。秋には、明媚な風景で麗しく着飾る。冬には、浅瀬の石が浮かび、清らかな水、玉となって流れる。晴れた漓江には、青い峰が河水に映り、白鷺が低く飛ぶ。雨の漓江には、雲と霧がもうもうと立ちこむ。夜の漓江には、幻の夢の中に彷徨う。朝の漓江には、花に濡れ、千の峰が霞を掛ける。夕暮れの漓江には、「戻られる漁船が波の跡を残し、聞こえるのは漁師の歌」という詩的な景観特性が人々に強く印象を与える。

#### 写真1-1 漓江流域の景観概要写真例

### 1.2 桂林市街区域の景観性と利用状況

桂林市街区域は漓江を境界として、虞山橋から淨瓶山橋までの10kmの範囲が東部と西部に分かれている。東部の市街地は観光地として拡張、整備されつつあるのに対し、西部の市街地は繁華商業地域として発展されてつつある。桂林市街区域は緑が豊かで、緑化総面積と緑被率がそれぞれ1722.6haと33%である。その豊かな自然環境に山水景色は行政区域を断らず漓江を沿って点在する。それらの景観資源及び漓江兩岸の緑化の整備、管理は桂林市園林局によってなされている。

都市部の漓江は河幅が広く、平瀬な河段であり、兩岸の人工護岸、大通りの緑化とあわせて桂林市街地の独特な河川景観を構成している。また、沿岸に獨秀峰、伏波峰、疊彩山、開鷄山、穿山など山が平地からつきでてそびえ立っており、「天を支える柱」という威容を持つ。これらの山と兩岸に広がっていく桂林市区を組み合せて、「城の外に奇峰が囲み、城の中に青山が燦々と立つ。町の外に山があり、山の外に町がある。」という特徴を持つ。

都市部に位置する多くの歴史文化財や自然景観資源を14の公園、5の風景区、11の風景点として整備され、国内外の利用者に観光ポストとして提供している。特に芦笛岩、象鼻山、疊彩山、伏波山などの名所が代表的な存在である。河はボート遊びや夏の水泳などの親水活動に利用されている。漓江南岸の濱江路に常緑樹による緑陰道が形成されており、重要な景観視点場として、多くの市民や観光客で賑わっている。

表 3.10.1 桂林市街区域の緑化状況

名 称	面積(h a)	名 称	面積(h a)
公共(都市)緑地	210.50	風景林地(風致公園)	207.25
生産緑地	75.62	園林(公園)緑地	1599.71
専用(緩衝)緑地	834.63	街路緑化面積(緑道)	122.89
保護(共用)緑地	271.70	公共緑地面積/人	5.0 m <sup>2</sup>

\*出典：桂林市園林局1995年の統計による。

\* ( ) は日本の緑地分類である。

### 写真1-2 桂林市街区域景観概要写真例

#### 1.3 桂林郊外区域の景観性

桂林市の淨瓶山から陽塑の碧蓮峰埠頭までの76kmの流域は郊外区域となる。流域の兩岸に美しい自然景観と農村集落が立ち並び、地域の人々は主に農業を中心に営んできた。景観としては、漓江を中心に「江は青羅の帯を成し、山は碧玉の簪の如し」の風景が兩岸に続く。郊外景観区域の中、淨瓶山から竹江埠頭までの幽玄な田園風景、竹江埠頭から桃源までの岩景色、桃源から興坪までの山水景色、興坪から陽塑の間に農的な山水風景の四つ景観区域に分けられる。

淨瓶山・竹江埠頭間の漓江は緩やかな河道線形と川幅が広く、河川の礫洲が発達している。景観は兩岸に広がる平坦地形に、水田のなかに農民集落が点在する農村風景が特徴となっている。景観資源としての淨瓶山、古榕樹、磨盤山、奇峰鎮の群山などがこの区域に位置する。

江埠頭・桃源間の景観は変化がある河道線形と様々奇異な形になっている山や

岩が特徴である。この区域には蝙蝠山、蛙姿の岩石、九竜戯水、冠岩、半边奇渡などの景観資源がある。

桃源・興坪間の漓江は密集する標高400～600mの青山を蛇行し、豊かな河道線形を持つ。江水の流れと江中の洲による深淵と浅瀬の変化が著しい。景観の特徴としては兩岸の山が水辺に聳えたち、また、沿岸の緑竹に古木、恰も山水絵巻のような絶景が繰り広げられたように続く。その間清冽な江水に映る倒景が圧巻である。この区域の主要な景観資源としては草坪鎮、興坪鎮、浪石奇観、九馬西山、田螺山、美女峰、黄布倒景、楊堤風景などがある。その中でも草坪、陽堤、興坪の三ヶ所の山水景色は絶景である。

興坪・陽朔間の漓江は川幅が広く、川水がゆうゆうと流れてゆく。兩岸の山の標高は300～400mで、その輪郭は緩やかである。歴史を持つ陽朔城とその周辺に切り立つ山が景観の特徴である。

### 写真1-3 桂林市郊外部の景観概要写真例

乾期における漓江の自然山水景観においては、景観構成の要素である漓江兩岸の山々、植物、河川水などが季節により変化が見られる。水位は低下し、緑の量が減少することで、冬の季節感を感じられる。一部の山や峰が平常期の青山から黄色となる。兩岸沿いには緑の景色がまだ多く見られ、主に竹類（毛竹、吊糸竹など）で構成されている。また、水量不足のため、河水の変化や水理現象（波、早瀬、渦、視点による見かけ水量など）が少なくなると共に、水位の低下により、水面幅の縮小、河床線形の変化、砂利河原が大面積に露出するなど現象が生じる。特に、観光用の船の航路が狭くなるによる視点の変化があった。区域によっては景観上の「山が水にはべり、水が山に寄り添い」、「山は水を得て生き、水は山を有って美しい」という特徴が薄れる。

### 写真1-4 漓江の豊水期と渇水期の景観変化写真例

## 2. 主な景観資源・要素

### 2.1 歴史的、文化的な資源

桂林は歴史的な都市である。4～5万年前の古代人類の歯の化石は宝積山で発見された。これと同時に、甌皮岩、鼻子岩、釈迦岩、橋子岩など新石器時代の遺跡も発掘され、大量な石器、骨器、貝殻器、陶器も発見され、桂林の悠久な歴史を物語っている。

桂林には人類発展の歴史を持つ以外に、まだ大量な古墳群、古窯址、古建築と石刻、壁書、摩崖像などの歴史文化財がある。古墳群には雁山の漢墓群、堯山

の靖江王墓群があり、古窯址には上窯、莫家窯、窯里がある。古建築は唐時代の木竜石塔、宋時代の花橋、明時代の舍利塔、普賢塔、寿仏塔などがある。このほかに、隋の時代から清の時代までの石刻や唐・宋時代の摩崖像六百余台を保存され、百六十余りの唐・宋以来の壁書が残されている。これらの豊富な歴史文化財で桂林市が歴史名城となりえている。

## 2.2 自然的な資源

### 2.2.1 桂林の山

桂林がさまざま奇異な山峰を創り上げているのは、その典型的なカルスト地形のためである。およそ3億2500万年前、桂林地域は海の世界だった。そのうち、地殻の運動が起こり、桂林が二百メートルの海底からあらわれ、その後、地球の激しい造山運動で、桂林地面が海に沈んだり、隆起したりすることによって、現在の陸地になった。

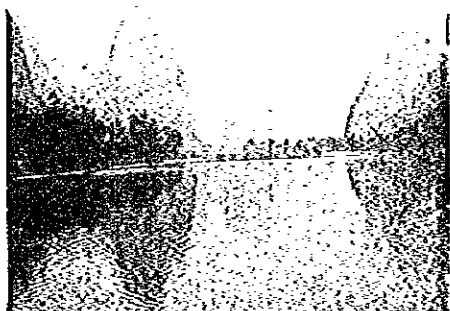
桂林地域の陸地はもともと石灰岩の地質で、長い年月のうちに、太陽の陽射しと雨水の浸食によって、石灰岩が風化して崩れ、もとの地形を間断なく壊していた。さらに浸食されると桂林に現存する群峰、峰林、獨峰となった。これらの織りなす奇異壯観な山々は一般的に標高が200~600 mで、その姿は動物に似たり、美しい少女や優しい母に似たりして、桂林の独特な自然山景観を成り立っている。

### 2.2.2 桂林の水

桂林全体地域は水が多い。江、河、湖、溪などが、山々と渾然一体となって、山が水にはべり、水が山に寄り添い、有名な「桂林山水」景観を創り上げた。漓江はそれらの水源として代表的な存在である。漓江は西北の猫児山から、東の桂林市を貫いて、東南の陽朔へゆっくりと流れていく。桂林から陽朔まで間の漓江が青いうすぎぬの帯のように群峰の間を舞い流れ、百里の山水画の画廊を作り上げている。

漓江の河床は主に玉砂利と砂礫で成している。水流が緩やかなところに玉砂利の河床となり、急流の河段に砂礫の河床である。特に、桂林と興坪の間に石灰岩の地質で、漓江流域の地下溶洞と暗河が発達している。漓江の一部の河水が地下へ流れ、地下伏流になり、上流からの泥と砂が地下伏流と共に地下へ流れてしまうため、漓江の水は常に鏡のように明るく清く、底まで澄みきっている。その青々とした漓江の水が豊かな水理現象を有し、光の反射と波立ち方によりひたひたと動く小波、ゆらゆらと動く横波、黄金色の波、銀色の波紋などさまざまな表情を見せている。また、兩岸に立ち並ぶいくつもの奇異な山と緑の峰をその水面に映し、恰も「山は水を得て生き」、「水は山を有って美しく」のような桂林の独特な自然山水景色となる。

・写真1-1 漓江流域の景観概要写真例



・小雨の漓江



・漓江の夕焼け



・漓江の浅瀬



・漓江沿岸の民家

・写真1-2 桂林市の景観概要写真



・桂林市全景



・解放橋を眺め

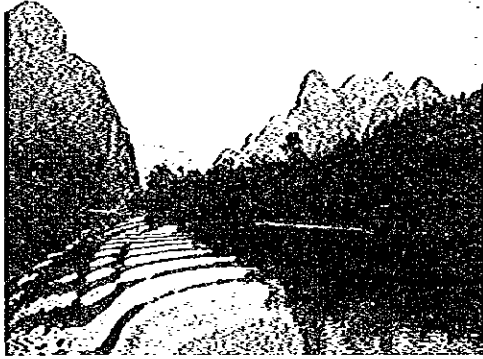


・榕湖の一風景

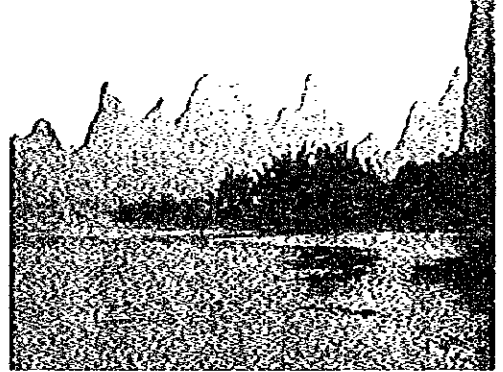


・桂林市の西部

写真1-3 桂林市郊外部の景観概要写真例



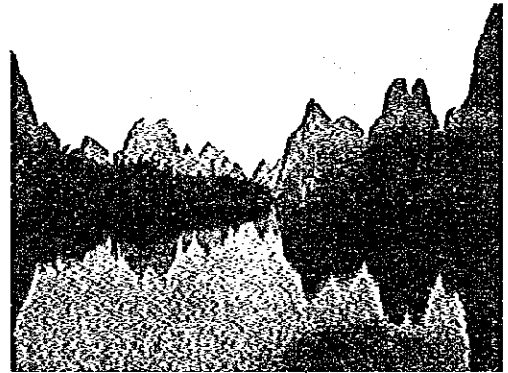
・漓江の水



・漓江の山



・浪石風景



・興坪の黃布倒景



・陽朔の風景

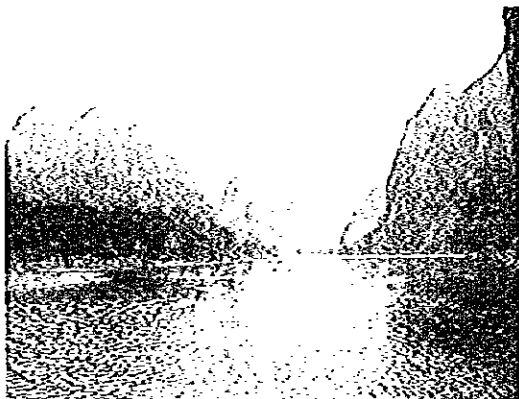


・楊堤の風景



写真1-4 漓江の豊水期と渇水期の景観変化写真例

変化例-1

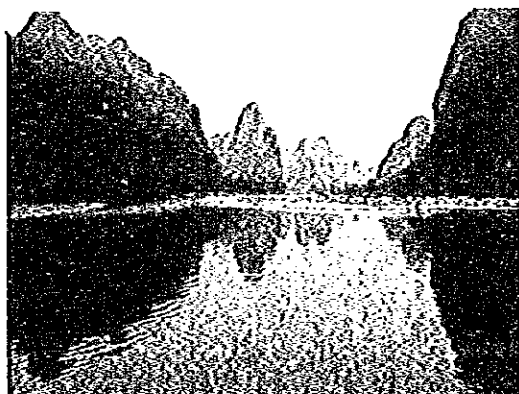


・豊水期の浪石前の景色  
・調査日：1996. 8. 9



・渇水期の浪石前の景色  
・調査日：1997. 1. 20  
・観測所：桂林所 陽壟所  
・水位：140.9m 102.9m  
・流量：31.6m<sup>3</sup>/s 29.9m<sup>3</sup>/s

変化例-2

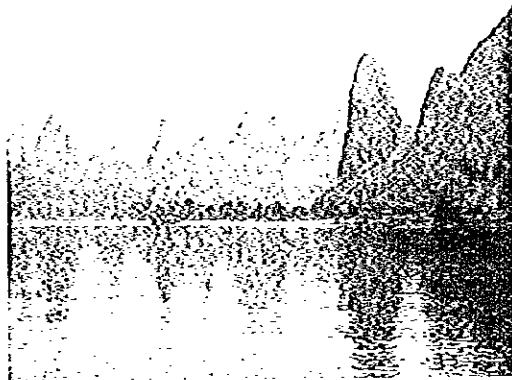


・豊水期の浪石の景色  
・調査日：1996. 8. 9

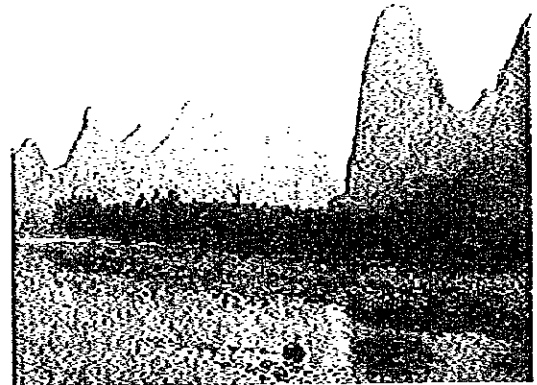


・渇水期の浪石の景色  
・調査日：1997. 1. 9  
・観測所：桂林所 陽壟所  
・水位：140.9m 102.8m  
・流量：30.9m<sup>3</sup>/s 23.0m<sup>3</sup>/s

変化例- 3

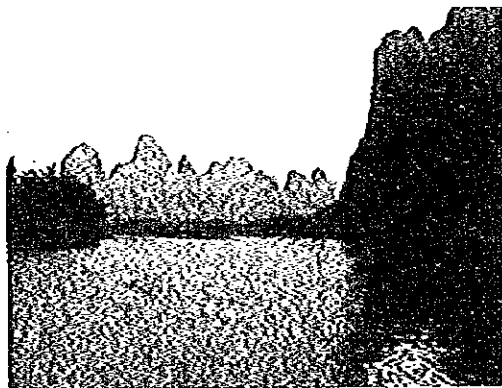


- ・ 豊水期の美女峰周辺の景色
- ・ 調査日：1996. 8. 9



- ・ 渇水期の美女峰周辺の景色
- ・ 調査日：1997. 1. 9
- ・ 観測所：桂林所 陽塑所
- ・ 水位： 140.9m 102.8m
- ・ 流量： 30.9m<sup>3</sup>/s 23.0m<sup>3</sup>/s

変化例- 4



- ・ 豊水期の興坪の景色
- ・ 調査日：1996. 7. 26



- ・ 渇水期の興坪の景色
- ・ 調査日：1997. 1. 20
- ・ 観測所：桂林所 陽塑所
- ・ 水位： 140.9m 102.9m
- ・ 流量： 31.6m<sup>3</sup>/s 29.9m<sup>3</sup>/s

### 3. 漓江の自然景観に影響する環境要因

#### 3.1 影響要因の選別

漓江流域における自然景観の予測及び自然景観の維持と保全のあり方の検討に当たっては、自然景観資源及び景観視点にどんな影響要因による変化が生じるかを把握する必要がある。それを基に、適切かつ科学的な方法で環境影響要因を減少させ、また、その影響力を緩和させる。

漓江流域の自然景観は自然的な要因と人的な要因から影響を受けている。自然的な影響要因としては漓江の水環境の変化、気候の異変、動植物の増減などを挙げられる。人的な要因としては、漓江沿岸の土地利用、構造物の設置、適切な管理などを考えられる。それらの影響要因により、直接及び間接的に景観資源と景観視点に影響を与える。

#### 3.2 影響要因マトリックス

表3-1

### 4. 景観資源リストと景観資源分布図

#### 4.1 景観資源リスト

(表4-1)

#### 4.2 桂林市街区域の景観資源分布図

(図4-1)

#### 4.3 桂林市街区域の景観資源及び景観視点写真

(写真4-1)

#### 4.4 桂林市外部の漓江沿岸の景観資源分布図

(図4-2)

#### 4.5 桂林市外部の漓江沿岸の景観資源及び景観視点写真

(写真4-2)

表3-1 滴江の環境影響要因マトリックス

影響対象	環境影響要因		自然的な要因による影響					管理・利用的な要因による影響						
	景観特性	景観資源	動植物	気候の変化	地形の変化	水質の変化	水量の変化	管理	土地利用	水の利用	河川空間の利用	構造物		
			山景観	近景	スカイライン	静水	流水	倒景	河道形状	認岸	動植物	文化・歴史	埠頭	観光船
景観資源	山景観	近景	○	◎	◎	○	◎	○	◎	○	○	○		
	水景観	スカイライン	—	◎	◎	○	—	—	—	—	—	◎		
		静水	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○		
		流水	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○		
		倒景	○	◎	◎	◎	◎	○	△	◎	◎	○		
景観視点場		河道形状	—	—	◎	—	◎	○	◎	—	◎	△		
		認岸	—	—	◎	—	◎	◎	○	◎	◎	◎		
		動植物	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○		
		文化・歴史	◎	○	○	○	○	◎	◎	○	○	○		
		埠頭	—	○	○	—	◎	◎	◎	△	◎	◎		
		観光船	—	◎	△	—	◎	○	△	△	◎	△		
		高水敷	—	○	○	△	◎	◎	△	△	△	△		
		道路・橋	—	○	○	—	—	△	◎	—	—	△		
		展望台	—	○	△	—	△	△	○	△	—	△		

注) ◎：景観資源及び視点の直接的改変の可能性があるもの  
 ○：景観資源及び視点の間接的改変の可能性があるもの  
 △：景観資源及び視点の直接的改変はないが見え方の変化を伴う可能性があるもの

表4-1 主要景観資源リスト

表 NO 01

区域	区分	分番号	写真番号	名(中国名)	名(日本名)	重要度	位置	規模	概要	備考
市街区域	山景観	U-M-1	Ua-M-1	叠彩山	叠彩山	◎	漓江の西岸、伏波山の北に1000m	標高:253.6m 公園面積:6.3ha 総面積:10.8ha	山石が何層も横に走り、色とりどりの縞や縷子を畳んだように見え、名を得る。明月峰を登ると絶好の眺望ができる。古建築や石刻、千年前の仏像がある。	公園:叠彩公園
		U-M-2	Ua-M-2	伏波山	伏波山	◎	漓江の西岸、市中心部から2km	標高:213m、 高さ:63m、 長さ:120m、 幅:60m	名勝地、古建築と岩洞に数多くの石刻、摩仏像等歴史文化財がある。桂林市と漓江を眺望できる。	公園:伏山公園
		U-M-3	Ua-M-3	象鼻山	象鼻山	◎	桃花江と漓江の合流点に位置する	標高:200m 面積:2.99ha 長さ:108m 幅:100m	漓江南運の大通りから観ると、巨象が鼻を伸ばして河の水を飲んでいるように見える。桂林のシンボルである。	公園:象山公園
		U-M-4	Ua-M-4	穿山	穿山	◎	市の東南部に、市中心部から3.5km。	標高:224m 高さ:94m 面積:25.25ha	穿山は南北に穿った空洞があるため、名を得た。その山洞は明月のように見えるから、月岩ともいう。山に傍岩洞があり、洞内の独特な鐘乳石がある。	公園:穿山公園
		U-M-5	Ua-M-5	塔山	塔山	◎	漓江の東岸に位置する。	標高:194m 面積:2.75ha 高さ:44m	穿山と隣接し、全体が穿山公園となる。明時代の塔がある。	
		U-M-6	Ua-M-6	独秀峰	独秀峰	◎	叠彩山の南に1000m、西伏波山の南に500m。	標高:216m 高さ:66m、 長さ:120m、 幅:50m	名勝地、唐時代の古建築遺跡と石刻の歴史文化財がある。桂林市を眺望できる。現在、広西師範大学にある。	
		U-M-7		西山	西山	◎	桂林市街地の西部に位置する。市中心部から2.0km	標高:357m 公園面積:5.86ha	西山は千山、竜頭峰、観音峰、西峰である群山である。唐の初期から山に西慶林寺が建てられ、多く仏像が岩壁に彫刻される。西山には木々が秀美を驚い、「西峰夕照」の桂林八景の一つと数えられる。	公園:西山公園 「西峰夕照」は桂林八景の一つ
		U-M-8		虞山	虞山	○	桂林市街地の北部、漓江の西岸に位置する	標高:58m 面積:0.7ha	虞時代の皇帝がこの山に登ったという伝説がある。一山が突起、山頂から漓江を見下ろすと美景が目に見える。	

主要景観資源リスト

表 NO 02

区域	区分	分番	写真番号	名(中国名)	名(日本名)	重要度	位置	規模	概要	備考
市街区域	山景観	U-M-9	Ua-M-7	南溪山	南溪山	◎	南溪河と漓江の合流所に、漓江の西岸。	標高：291m 高さ：141m 長さ：350m 幅：180m	南溪河が山裾を巡って流れるため、南溪公園の名をとる。南溪山は桂林市内の山の中に、もつとも険しい山で、緑も多く、山裾を巡り流れる山水景観もすばらしい。山の中腹に白龍洞、玄岩洞、劉仙岩など有名な岩洞がある。	公園：南溪公園
		U-M-10		七星岩	七星岩	◎	漓江の東側に、市の中心部から2km	総面積：100.3ha	七星岩は主に普陀山と月窟山からなる。公園内に山、河水、岩洞、庭園、貴重な樹木と古文物が集約されている。盤剣江と小東江が公園内に流れている。古建築の花橋が南入り口の龍隱岩内にしまれ、有碑林が南入り口の龍隱岩内にしまれ、有名な駱駝山が公園の東にそびえ立っている。又、動物園も備えている。	総合公園： 七星公園
		U-M-11		老人山	老人山	○	桂林市街地の西北、桂湖の水辺に位置する。	標高：141m 面積：6.81ha	漓江の視pointsから観ると、この山は帽子を被って、南へ眺められている優しい老人に見える。	
		U-M-12	Ua-M-8	斗鸡山	闘鷄山	◎		東山標高：288m 高さ：138m	東西両岸に向かい合った二つの山が、東の穿山と頭部の毛を立ちに氏、ばたいて闘志をむき出しにした雄鷄みたく西の龜山をあわせて闘鷄山という景色が見える。	
		U-W-1	Ua-W-1	桂湖	桂湖	○	漓江の西岸、桂林市内街地内に位置する。	水面積：16.6ha	原名は深南塘で、桂林城を守る湖である。現在桂林市内に最大の湖で、周辺の老人山と蘆山に自然山水景観を作り上げている。	公園：桂湖公園
		U-W-2	Ua-M-2 Ua-W-3	榕湖・杉湖	榕湖・杉湖	◎	漓江の西岸、桂林市内街地の中心部に位置する。	東側の榕湖と西側の杉湖の合計水面積：16ha	この湖は唐時代の桂林城の濠から内湖と名を得た。杉湖はまわりに杉を植えられた名を得る。湖内に中島と繋がる曲橋、長廊、亭など施設がある。漓江につながらる。榕湖は湖辺に古榕樹があつたで、名を得た。桃花江に繋がる。湖を中心にした山水景色は貴重な景観資源である。	

主要景観資源リスト

表 NO 03

区域	区分	分布番号	写真番号	名称(中国名)	名称(日本名)	重要度	位置	規模	概要	備考
市街区域	水景観	U-W-3	Ua-W-2	營洲煙雨	營洲煙雨	◎	漓江の東岸、象鼻山の向かいに位置する。	長さ：2500m 幅：500m 面積：1.25km <sup>2</sup>	細雨がそば降り、煙波びょうぶようたるさまが出現すると、いつとも洲上の江橋や村落がふわふわした絹のような薄霧の立ちこめた中に美しい佇まいを見せる風景である。	公園：營洲公園 桂林の八景の一つ
		U-W-4		小東江	小東江	○	漓江の東側に位置し、漓江と平行し流れている	全長：4.0km、 川幅平均：50.0m	小東江は漓江の支流である。水は漓江と同じ清く澄んでいる。古来からの観光コースになっていった。「水、目の如く横わたり、山、眉に似て峰が聚まる」との詩趣がある。	
		U-W-5		桃花江	桃花江	◎		全長：25.0km、 市街地内の長さ は：19.1km	桃花江は盛川県の思恩山と維羅嶺から桂林の西部にはいる。象鼻山公園で漓江と合流する。勝利橋あたりの江水は清く澄み、兩岸の山とあわせると絶景な山水景観となる。特に、水面に映された秋の月と水景が桂林八景の一つと数えられる「陽江秋月」である。	古名、陽江。
		U-W-6	Ua-W-5	淨瓶山	淨瓶山	◎	市中心部から6km 漓江の西岸	標高：196m 高さ：46m 長さ：500m 幅：110m	山が立て半分の花瓶のように横になっている。口が南に向き、底が北に向いている。漓江の水に映し出された倒景と併せて、花瓶の口、頸、胴体、底のそろった一つ完全な花瓶になった。奇観そのものである。	
		U-C-1	Ua-Ch-1	古南門	古南門	◎	古南門は榕湖の北岸に位置する。		唐時代に桂林城が築かれたときに造られたそうです。この門前の古榕と併せて、桂林市内の景観資源である。また、この門城に登ると榕湖と杉湖の景色を見渡せる重要な景観視点である。	
	U-C-2	Ua-Ch-2	象山石刻	象山の石刻	◎	象鼻山の水月洞にある。	貴重な石刻の数が50数点がある。		南宋時代の詩人陸游の手書き、四大家の范成大の「復水月洞銘」、著名詞人張孝祥の「朝陽亭詩併序」など貴重な詩詞がある。	

主要景観資源リスト

表 NO 04

区域	区分	分番号	写真番号	名(中国名)	名称(日本名)	重要度	位置	規模	概要	備考
市街区域	歴史文化財	U-C-3		尧山	尧山	◎	桂林市の東部に、市心部から10.0km。	標高：909.3m	尧山は桂林市に唯一の土山である。山頂に「玉皇閣」などの廟宇が多く。春には山頂に積雪し、茫々たる雪の世界になる景色がある。また、重要な歴史文化財である明時代の靖江王陵と清時代の張岡敬墓がある。	風景区 「尧山冬雪」は桂林八景の一つ
				王城	王城	◎	独秀峰の麓に位置する。	建築面積：長さ0.5km、幅0.5km。	明時代の洪武五年加から二十数年をかけて建設された靖江王府である。中央の宮殿を中心とする主体建築のまわりに、様式や軒が配置されて広大な建築群である。いくつかが戦火にあって再建された。	公園：王城公園
				花橋	花橋	◎	七星公園内に、小東江と靈剣江の合流点に位置する。		宋時代の嘉熙年間建造され、いく度か世の転換を経て現在の石橋になった。橋の両側にいるいろな花を刻まれ、また、橋上の高欄や亭、橋の柱、アーチなどが橋とパラスをとり、なお、建築様式と色彩が橋全体の芸術美を図っている。	
				芦笛岩	芦笛岩	◎	桂林市の西北に、市街地から7.0km離れた光明山の麓に位置する。	東西長：240m 南北長：50～90m 幅：2～40m 高さ：2～18m 総面積：1.49ha	芦笛岩は袋状の鍾乳洞である。洞内には数多くの鍾乳石、石筍、石柱がいろいろ奇異な姿となり、様々な美しい景色になっている。色も豊かで、赤は珊瑚、緑は翡翠、黄は琥珀ようで、さながら地下の芸術宮殿のように感じる。	風景区



主要景観資源リスト

表 NO 05

区域	区分	分番	写真番号	名称(中国名)	名称(日本名)	重要度	位置	規模	概要	備考
市街区域	岩石洞 鐘乳洞	U-Sc-2		七星岩洞	七星岩洞	◎	七星公園内の普陀山の西側に位置する。	全長：1100m 最大高さ：27m 最大幅：50m 総面積：1.76ha	七星岩洞は上、中、下の三層からなり、現在観光に提供されたのは中層である。洞内には形態さまざまな奇観を呈した鍾乳石、石筍、石罅、石花が立ち並び、奇異で壮麗な一幅の絵巻のように見える風景である。	「棲霞真境」という景色は桂林八景の一つ
						○	七星公園内の月窟山の西北側に位置する。	全長：64m 高さ：8～12m 幅：8～20m 総面積：0.645ha	洞内には、かつて、龍が隠居し、そのうちには壁を突き破って飛び去ったという伝説がある。現在洞頂に「龍の跡」がある。洞内に清い水が流れているのは特徴である。	七星公園内の一つ景観点である。
						◎	象鼻山公園内に象山の脚と鼻の間に位置する。	全長：21m 高さ：12m 幅：9.5m 面積：150㎡	洞の口が半円形になり、河水面に映された半分と併せて、漓江に浮かぶ満月のように見える。水位が下がると、満月の形になり、河を隔てて相対する穿山月岩と共に、「漓江の一對の慧眼」というような風景になる。	
						○	伏波山公園の伏波山腹に位置する。	全長：127m 高さ：4.0～6.0m 幅：6.0～8.0m 総面積：612㎡	洞内の水際にある石階段の側に、岩壁から垂れ下がる天簾の石柱がある。この石柱は上が大きく下が小さい、下の端と地面の間に6cmの隙間がある。ことのほか奇趣に富む。また、岩壁に数多くの仏像や奇面がある。	
						○	七星公園内の西、花籬の東に位置する。	高さ：10m	石柱は地面から切り立ち、未開花の芙蓉のように見える。また、1106年と1885年の洪水機織が刻まれている。	別名：芙蓉石 七星公園内の一つ景観点である。
	奇岩石	U-S-1		天柱石	天柱石	○	七星公園内の普陀山の麓に位置する。	標高：187.4m 高さ：30m 幅：50m 長さ：70m	この岩石はまるでひざまずいている一つコブの駱駝に見える。	七星公園内の一つ景観点である。
						◎	七星公園内の普陀山の麓に位置する。			

主要景観資源リスト

表 NO 06

区域	区分	分番号	写番号	名称(中国名)	名称(日本名)	重要度	位置	規模	概要	備考	
市街区域	奇岩石	U-S-3		龍頭石林	龍頭石林	○	西山の中部にある		岩が巨大な龍頭のよりに、角を持ち、龍の全体が起るをたなびかせ、鱗がある。龍の全体が起る。西山公園内の一つ景観点である。	別名：龍頭峰 西山公園内の一つ景観点である。	
		U-S-4		普陀石林	普陀石林	◎	七星公園内にある。	高さ：9m 面積：150㎡	石は様々な形で、自然の奇石といわれ、唐の貞観年間(627～649年)、九宮營造の際に、桂林から献上されたたれたる貢物である。	別名：瑞石	
	その他	U-0-1	Ua-0-1	漓江民俗風情園	漓江民俗風情園						テーマパーク
		U-0-2		民族文化遊楽村	民族文化遊楽村					洪水による破壊されている。夏によく利用されている。	
市外区域	山景観	S-M-1	Sa-M-1	奇峰鎮(奇峰林立)	奇鎮町(奇峰林立)	◎	市の南に位置し、市中心部から10km		幾多かの山々が重なり合い、緑に包まれ、「水面上に浮かび出ている無数の青山」のようである。遠くから観ると、奇峰が林立して連綿と起伏している。近くで観ると、美しい山が屹立し、青空を突きよるようである。	風景区	
		S-M-2	Sa-M-2	黄牛峽	黄牛峽	◎	桂林市から30km、漓江の東岸。	群山	石山は数多くの峰が九つの赤牛に似たり、馬に似たたりの山景色がある。江の中に三つの洲とあわせると「九牛三洲」の山水絶景がある。	別名：「九牛三洲」	
	S-M-3	Sa-M-3	蝙蝠山	蝙蝠山	◎			絶壁が石岩の色のままで、山の形と併せて、霧を広げて飛ぶ蝙蝠に見える。			
	S-M-4	Sa-M-4	冠山	冠山	◎	漓江の東岸、桂林から41km	標高：272.5m 高さ：142.5m 長さ：280m 幅：210m	山の形が古代の紫金の王冠と似ている。山のふもとに岩洞があり、洞内に奇異な様相の鍾乳岩と滑らかな滝がある。			

主要景観資源リスト

表 NO 07

区域	区分	分布番号	写真番号	名(中国名)	称名(日本名)	重要度	位置	規模	概要	備考
市外区域	山景観	S-M-5		綉山	綉山	◎	漓江の東岸 桂林から42 km	標高:329.5m 地面から: 204.5m	山の岩石は多彩で、赤、黄、緑などの色が縦横に交差して、織物や刺繍にみえる。周辺に「万年灯」、「七星橋」、「漏底潭」、「鸞鷗壁」などの景勝地がある。	
		S-M-6	Sa-M-5	推磨山	推磨山	○	漓江の東岸 桂林から44 km	標高:321.5m 高さ:181.5m	山の形をじっくり観ると、老人がひき臼をひいているようである。	別名:海豹山
		S-M-7	Sa-M-6	观音山	观音山	○	漓江の東岸、桂林から48km	標高:362m 高さ:222m 長さ:270m、 幅:210m	鯉魚灘から見ると、山の二つ峰の一つが蓮の台に座っている観音様で、も一つの峰が子がその観音様を拜んでいるように見える。	別名:童子拜観音
		S-M-8	Sa-M-7	九馬画山	九馬山	◎	桂林から60km、 漓江の東岸	標高:536.3m 高さ:416.3m 長さ:550m、 幅:500m	山の岩壁に巨大な壁画ができて、青、黄、緑、白等濃淡の入り混じった斑紋がさまざまに姿態の馬を描かれたように見える。	
		S-M-9	Sa-M-8	螺獅山	螺獅山	◎	桂林から64 km	標高:356.8m 長さ:320m、 幅:300m	山の形が田螺のように見える。単突に漓江の岸畔にそびえ立っている。	
		S-M-10	Sa-M-9	美女峰	美女峰	◎	漓江の西岸、桂林から64km	標高:400.8m 高さ:280.8m 長さ:470m 幅:190m	山の姿が美しい少女に見える。山の後部は長い髪で、山の前面は白い岩石の中に赤い色が付きによって、化粧した少女のようにである。	別名:美女梳妆
		S-M-11	Sa-M-10	鯉魚山	鯉魚山	○	漓江の西岸、桂林から65km	標高:418m 高さ:298m 長さ:690m 幅:280m	山の姿は西に向いている魚のように見える。動いている観光船から観ると、魚が泳いでいるような動感がある。	
		S-S-1	Sa-S-1	父子岩	父子岩	○	桂林市から8km、漓江と相恩江の合流点に位置		高さ約8m、幅約4mの岩洞の中に、大きいと小さい二つの鐘乳石がある。大きいのは父のような人像、と小さいのは子供のようない人像に見える。	

主要景観資源リスト

表 NO 08

区域	区分	分番号	写真番号	名(中国名)	名(日本名)	重要度	位置	規模	概要	備考
市外区域	奇岩石	S-S-2	Sa-S-2	九龍戲水	九龍戲水	○	漓江の西岸		鐘乳石が岩壁からぶら下がっている。さまざまな姿の龍が水と戯れる。	
		S-S-3	Sa-S-3	青蛙過江	青蛙過江	◎	漓江の東岸		山の麓にある岩石が一定の視点から見ると蛙の形に見える。	
		S-S-4	Sa-S-4	望夫山	望夫石	◎	漓江の西岸 桂林から37km		山の上の岩石は船夫の姿が子を負つて、夫を待つのように見える。美しい伝説がある。	別名：望夫山
		S-S-5		半边奇渡	半边奇渡	◎	漓江の西岸 桂林から43km	標高:約400m	渡口山のふもとには、河畔道が崖によって遮断され、渡り舟に昇って渡るため、名を得る。この山が断崖絶壁がそそぎ立ち、それに奇抜な渡しを加えて、絶佳の景となる。	
		S-W-1	Sa-W-1	浪石奇観	浪石	◎	桂林から48km		浪石辺りの漓江の水は暗礁で起伏する浪に見え、名を得る。船で浪石を過ぎると、奇峰が岸を挟んで送り迎えしてくれ、両岸の山峰が一つながりになって一つの峡谷を形成する。煙雨の天候に、山が霧に包まれ、いつそう神秘的な姿を見せる。	別名：浪石奇観
岩洞	S-W-2	Sa-W-2	黄布灘	黄布灘	◎	桂林から約62km		漓江の景色の美しさは水に映った倒影の中にある。「黄布灘」の倒影がもつと人酔わせ。水辺の倒影は天候のよしあしと密接に結びついている。雨天、雨粒で影がくすくすしてしまい、霧の日、煙霧に香まれてしまふ。晴天、倒影がはつきりとして見えている。		
		S-Sc-1		冠岩	冠岩	◎	冠山の麓にある。		冠岩は四つの岩洞で成り、低い洞門によってわかれる。乾期にはいると洞内の観賞ができる。冠岩の入り口が明るくて広い、さまざまな鍾乳石が垂れ下がり、奇観を呈す。また、見晴らし台があり、そこから洞外を眺めると竹や松の青い山と田園風景を一望できる。	

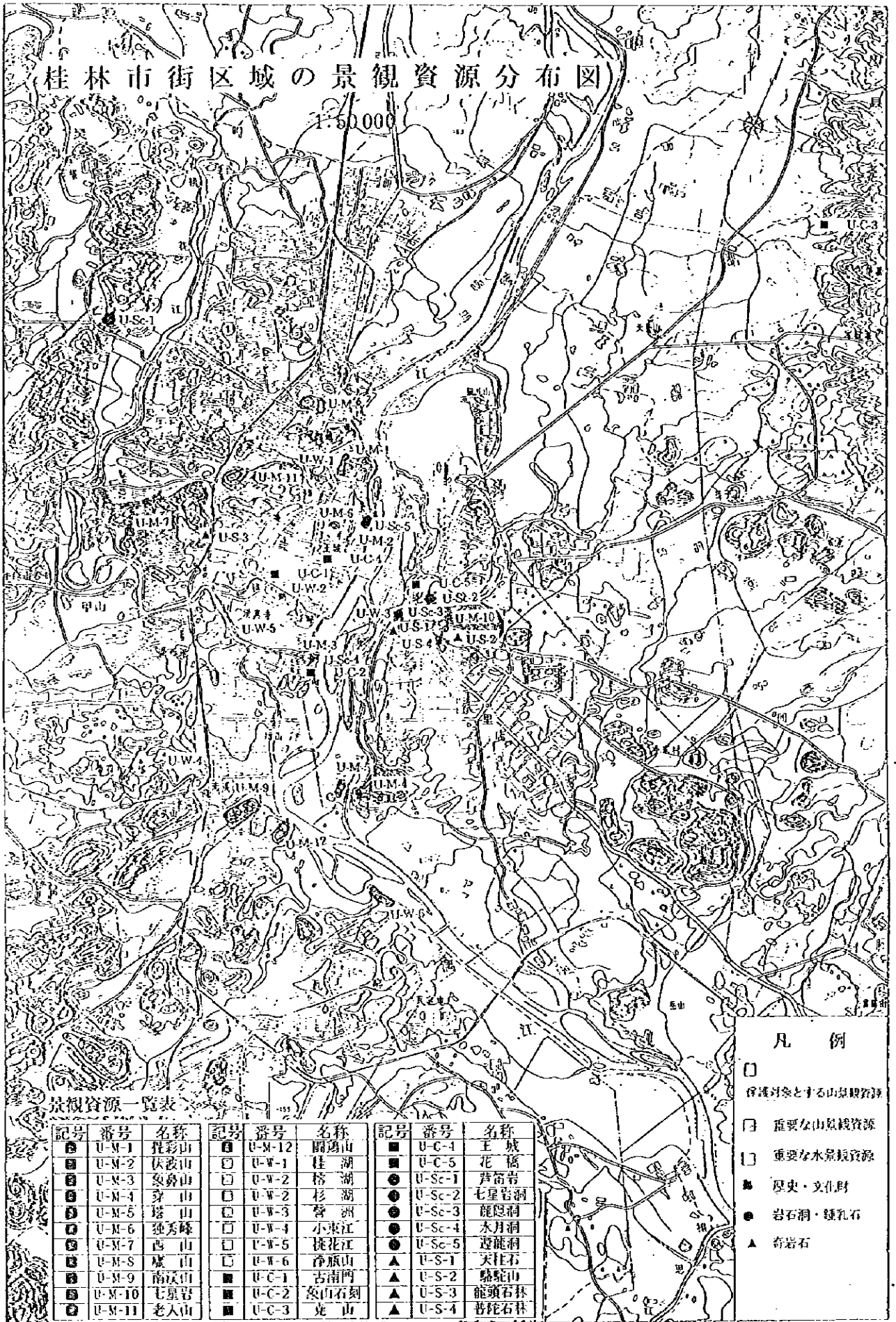
主要景観資源リスト

表 NO 09

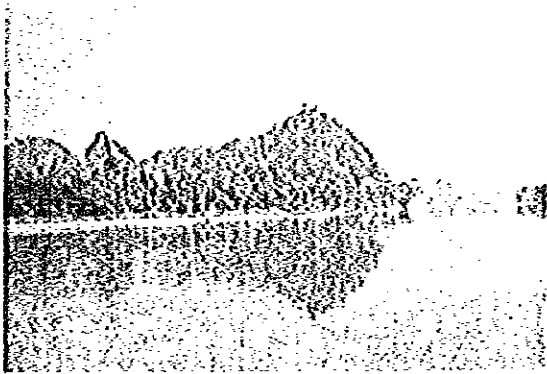
区域	区分	分番号	写真番号	名(中国名)	名(日本名)	重要度	位置	規模	概要	備考
市外区域	史跡	S-C-1	Sa-Ch-1	大坪	大坪町	○	桂林市から23km		明の時代からすでに広西省の四つの大きな町の一つである。桂林の水陸交通の要路であり、市の取引の中心地でもあった。周辺の山に「碧玉石林」、「犀牛望月」、「天外仙泉」など佳景があり、また、多くの古建築物もある。	
		S-C-2	Sa-Ch-2	興坪	興坪町	◎	桂林から63km		1300年余りの歴史を持つ古い鎮である。漓江の景色の精華が集約され、潯い江水と青い奇峰が集まっている。峰々は様々な奇異な姿となっている。	
		S-C-3	Sa-Ch-3	陽朔	陽朔町	◎	桂林から83km		晋時代からの古い町、漓江下りの終点である。周辺の自然景色は「多」、「奇」、「秀」の特徴がある。又、農風景も有名であり、物産も豊かで、特に果物は名物である。	陽朔県の県庁地 埠頭
		S-0-1	Sa-0-1	竹江	竹江町	○	桂林から28km		河岸線の長さは800m、五つの泊地がある。100台の船が停泊ができる。	埠頭
		S-0-2	Sa-0-2	草坪圩	草坪圩村	◎	桂林から35km、漓江の西岸。	面積：32km <sup>2</sup>	四千人余りの各少数民族の人が住んでいる。広西省内の唯一の回族村である。周辺の景色は山水景観と崖風景を混在し、特に、安笛、猫耳、冠岩の三つの山水岩洞が有名である。	少数民族居住区
		S-0-3	Sa-0-3	桃源	桃源村	○	漓江の西岸 桂林から45km		桃源村の前に緑の竹が生い茂り、後ろに青松がそびえ立っている。春の花が咲く三月になると、いろんな色が合い映す、桃源境のようである。	
		S-0-4	Sa-0-4	楊堤	楊堤町	◎	漓江の西岸 桂林から46km		濁水期に漓江下りの出航地となる。この辺りの景色は漓江の景勝の精華が集まっている。又、山峰、滝、樹木、竹林と水辺の農舎などの山水田園風景も有名である。	埠頭

(注)：漓江兩岸を中心とする。◎ 重要且つ優先保護の景観資源、○ 保護対象の景観資源

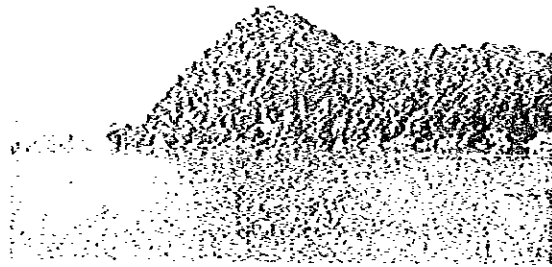
図4-1



名称：疊彩山、写真番号：U a-M-1



・視点-1

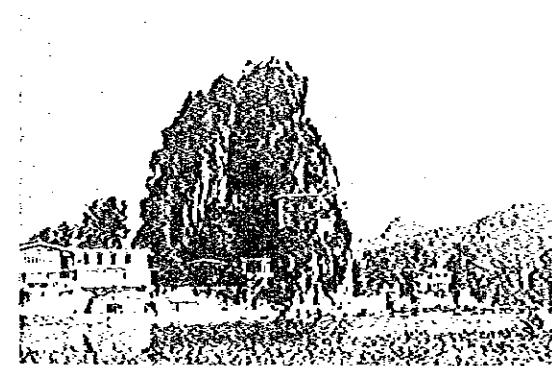


・視点-2

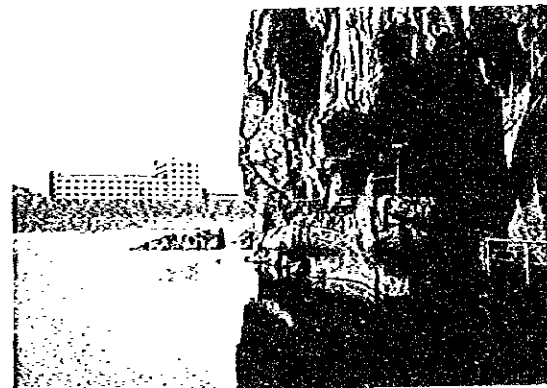
名称：伏波山、写真番号：U a-M-2



・視点-1



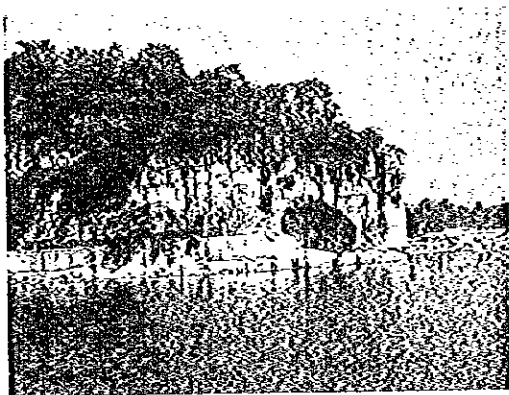
・視点-2



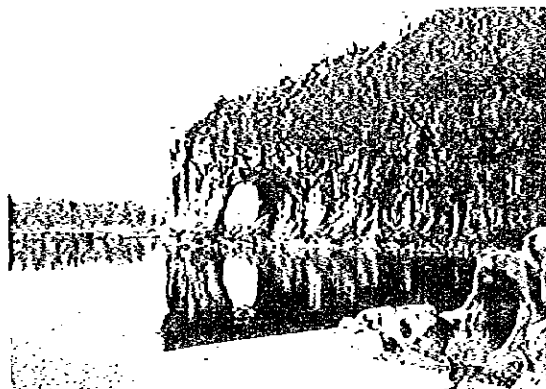
・視点-3 伏波山石刻

対岸のホテルによる景観空間  
の構成対する影響

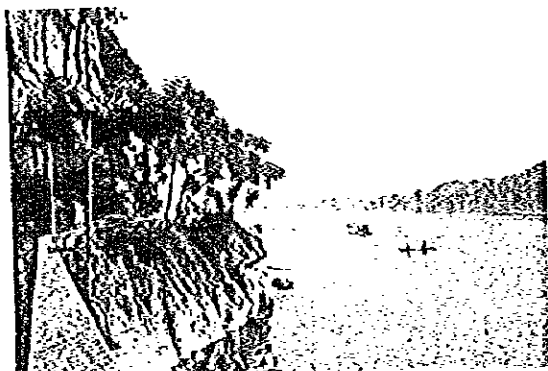
名称：象鼻山、写真番号：U a-M-3



・視点-1



・視点-2 (渇水期)



・視点-3  
上流を眺める。



・視点-4  
水辺から西岸を見る。



・視点-4  
象鼻山の頂上から西部市区を眺望。



・視点-5 (写真番号：U a-C h-2)  
象鼻山の石刻



名称：穿山、写真番号：U a-M-4



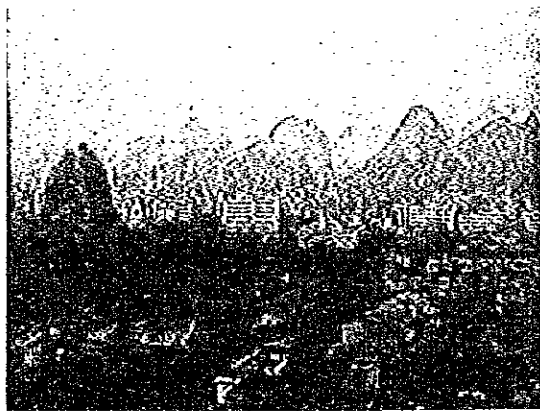
・視点一1

名称：塔山、写真番号：U a-M-5



・視点一1

名称：独秀峰、写真番号：U a-M-6



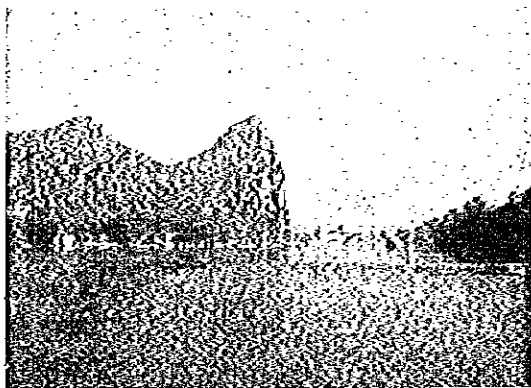
・視点一1

名称：南溪山、写真番号：U a-M-7

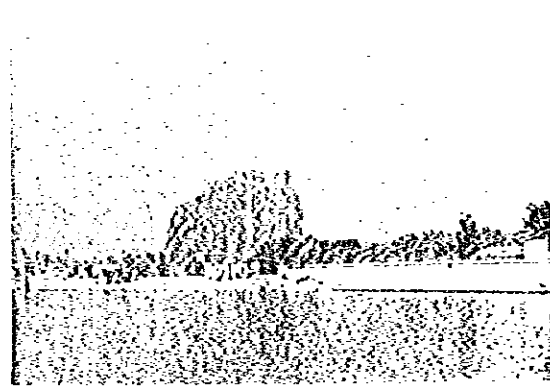


・視点一1

名称：鬪鷄山、写真番号：U a-M-8



・視点一1



・視点一2

乱雑な建物による景観性の低下。

名称：桂湖、写真番号：U a-W-1



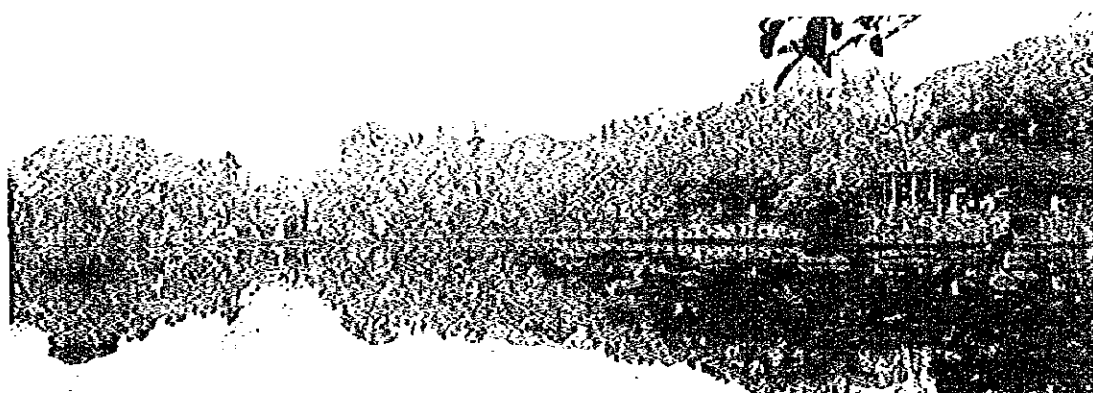
・視点-1

名称：瞿洲、写真番号：U a-W-2



・視点-1

名称：榕湖、写真番号：U a-W-3



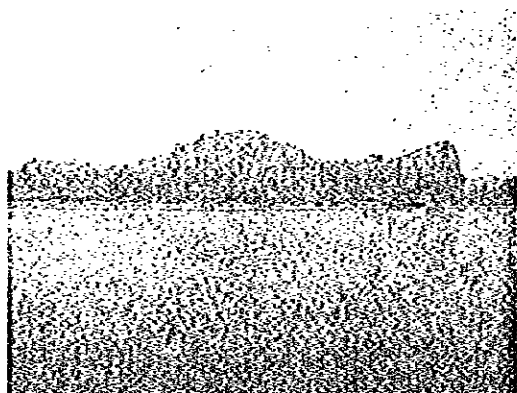
・視点-1

名称：杉湖、写真番号：U a-W-4

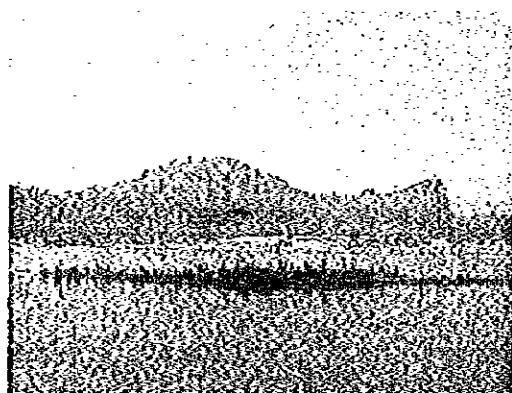


・視点-1

名称：瀟瓶山、写真番号：U a -W-5

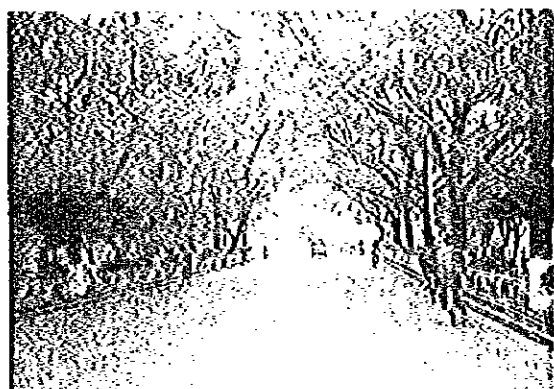


・視点-1



・視点-1

名称：古南門、写真番号：U a -C h-1



・視点-1

名称：瀛江民族風景村、写真番号：U a -O-1



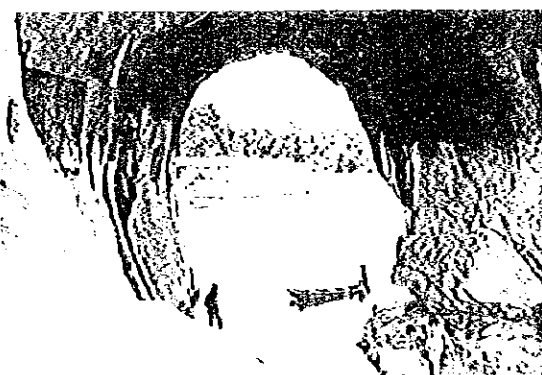
・視点-1

名称：芦笛岩、写真番号：U a -S c-1



・視点-1

名称：水月洞、写真番号：U a -S c-2

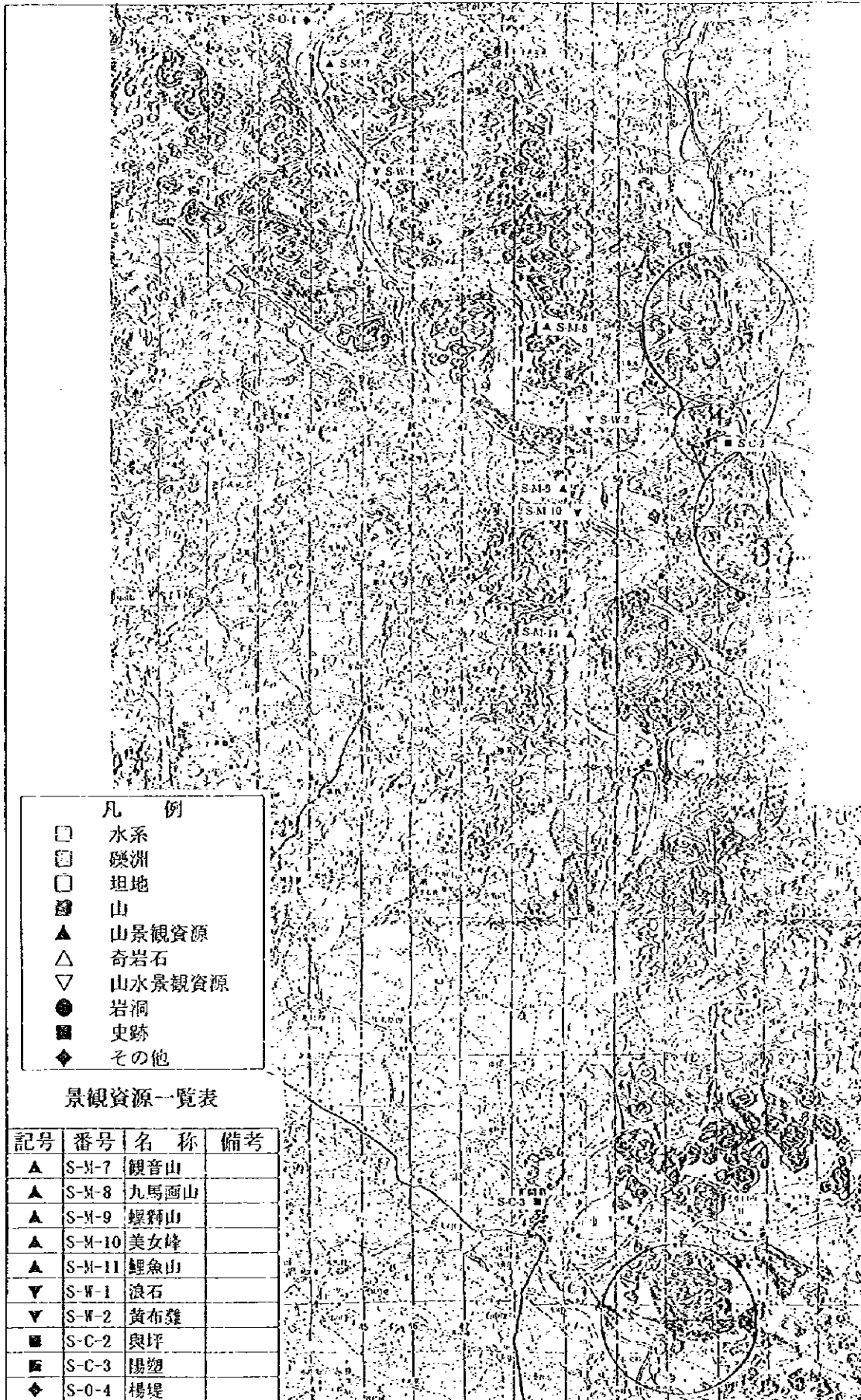


・視点-1

漓江沿岸景觀資源分布図 (浄瓶山橋~楊堤) No-1



漓江沿岸景觀資源分布図 (楊堤~陽朔) No-2



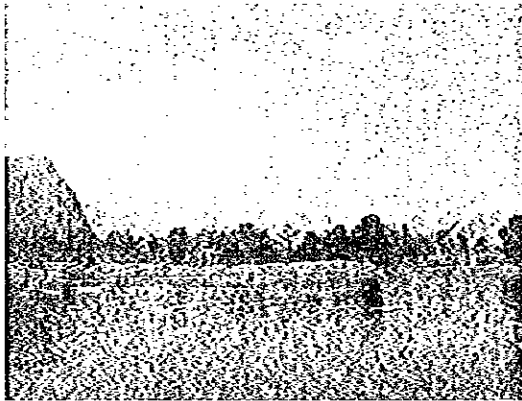
- 凡 例
- 水系
  - ▣ 磯洲
  - 坦地
  - 山
  - ▲ 山景觀資源
  - △ 奇岩石
  - ▽ 山水景觀資源
  - 岩洞
  - 史跡
  - ◆ その他

景觀資源一覽表

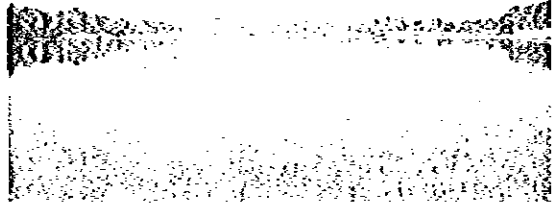
記号	番号	名称	備考
▲	S-M-7	観音山	
▲	S-M-8	九馬画山	
▲	S-M-9	螺髻山	
▲	S-M-10	美女峰	
▲	S-M-11	鯉魚山	
▽	S-W-1	浪石	
▽	S-W-2	黄布灘	
■	S-C-2	興坪	
■	S-C-3	陽朔	
◆	S-0-4	楊堤	

4.4 桂林市外部の漓江沿岸の景観資源及び景観視点写真

名称：奇峰鎮、写真番号：S a-M-1



・視点-1



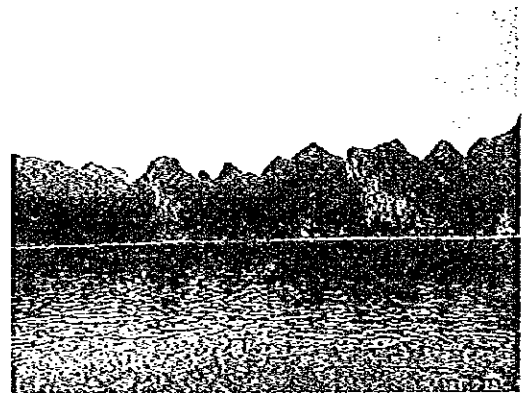
・視点-2

名称：黄牛山、写真番号：S a-M-2



・視点-1

名称：蝙蝠山、写真番号：S a-M-3



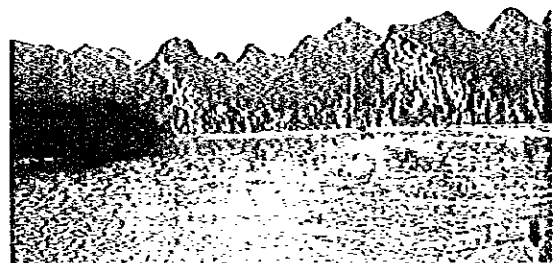
・視点-1

名称：蝙蝠山、写真番号：S a-M-3



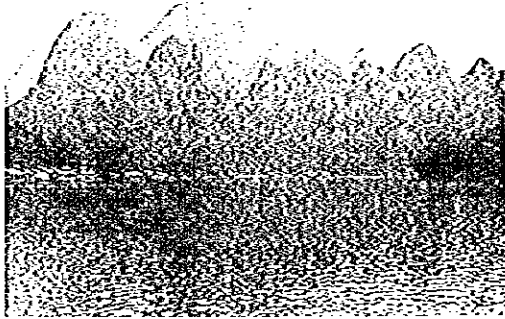
・視点-2

名称：蝙蝠山、写真番号：S a-M-3

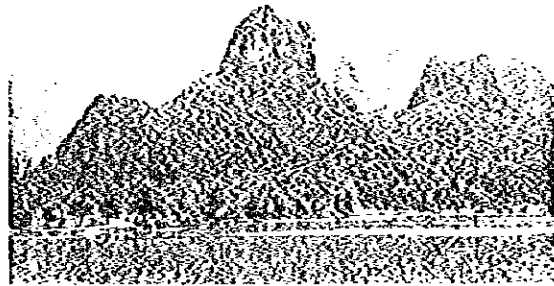


・視点-3

名称：冠山、写真番号：S a-M-4



・視点-1



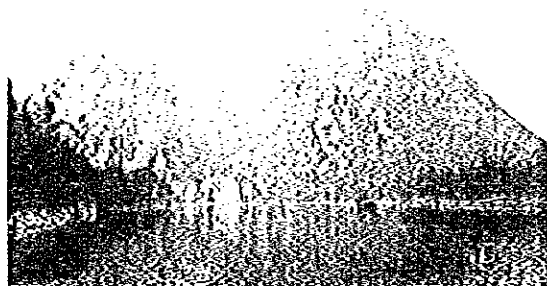
・視点-2

名称：推磨山、写真番号：S a-M-5



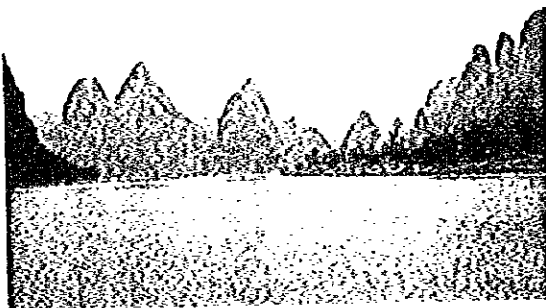
・視点-1

名称：観音山、写真番号：S a-M-6



・視点-1

名称：田螺山、写真番号：S a-M-8

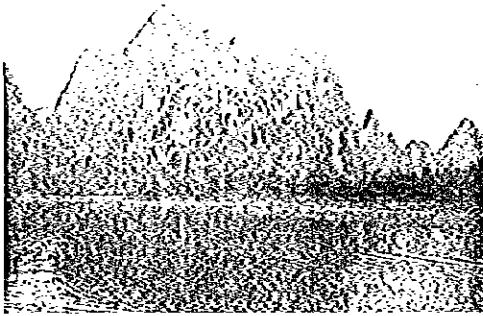


・視点-1

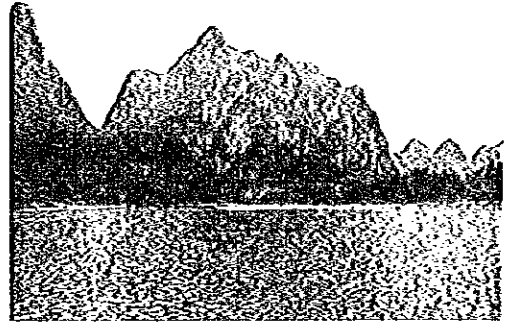


・視点-2

名称：九馬画山、写真番号：S a-M-7

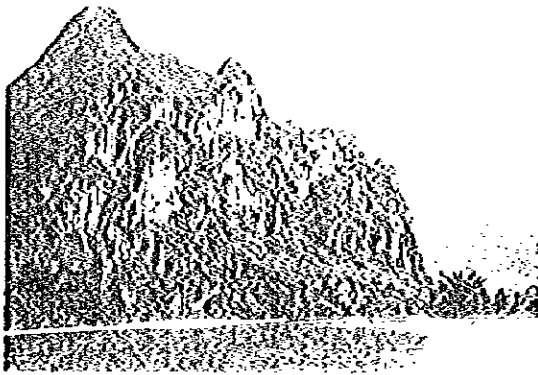


・視点-1 (渴水期)



・視点-2

名称：鯉魚山、写真番号：S a-M-10

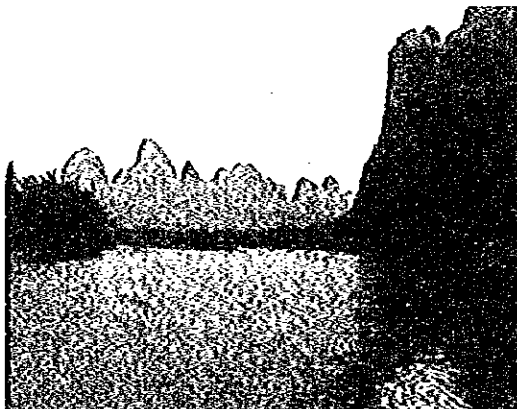


・視点-3

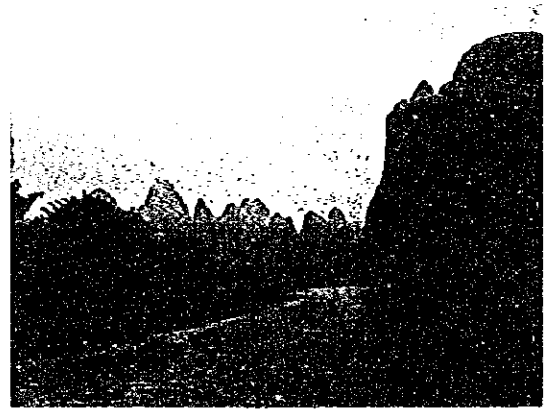


・視点-1

名称：美女峰、写真番号：S a-M-9



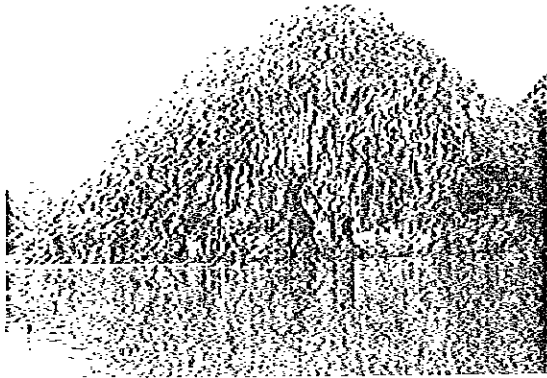
・視点-1



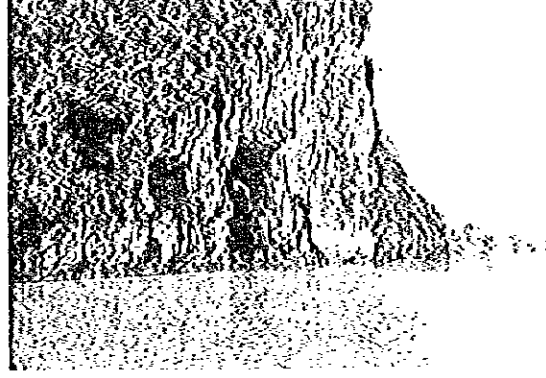
・視点-2 (渴水期)



名称：父子岩、写真番号：S a-S-1



・視点-1



・視点-2

名称：九龍戲水、写真番号：S a-S-2



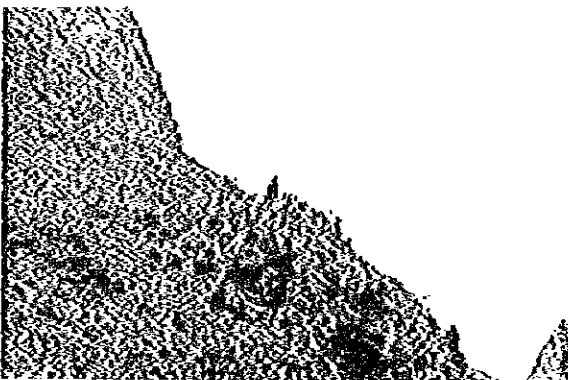
・視点-1

名称：青蛙過江、写真番号：S a-S-3



・視点-1

名称：望夫山、写真番号：S a-S-4



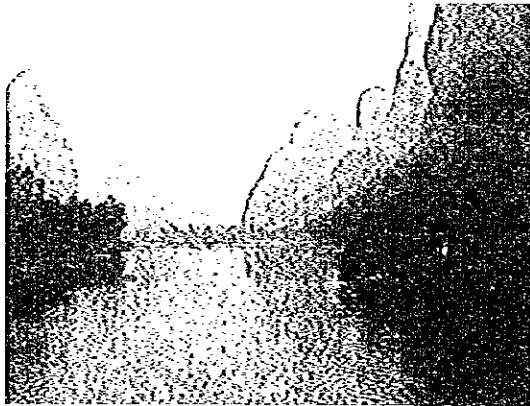
・視点-1

名称：烏龜爬山、写真番号：

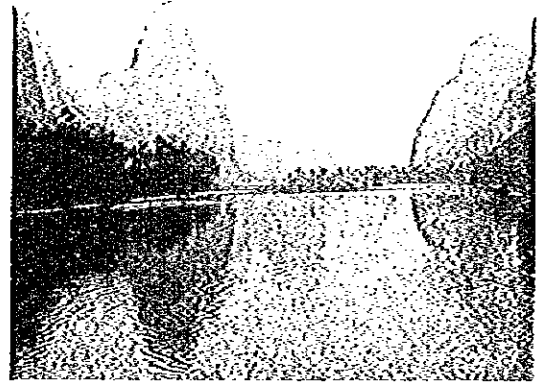


・視点-1

名称：浪石奇観、S a -W-1



・視点-1、小雨中の浪石(湯水期)



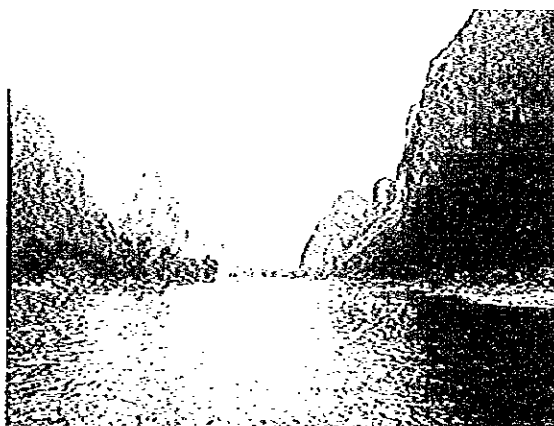
・視点-2、小雨中の浪石(湯水期)



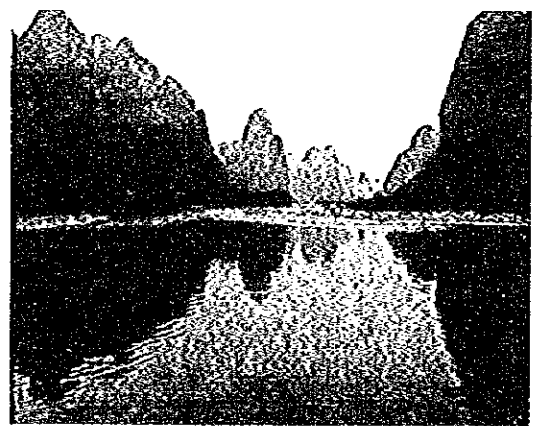
・視点-3、浪石の水景



・視点-4、河原露出の浪石(湯水期)

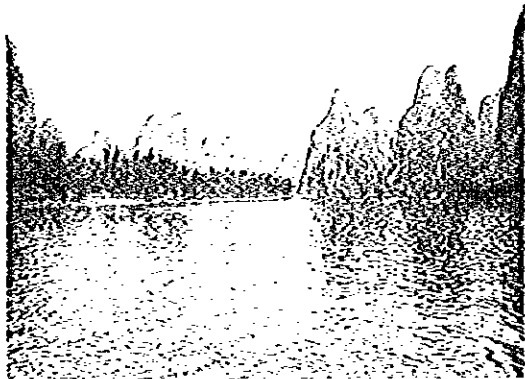


・視点-5、浪石の流水

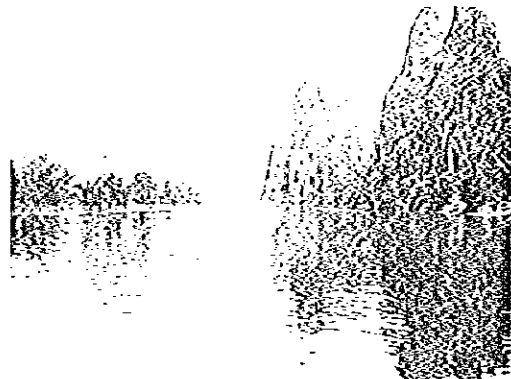


・視点-6、浪石の倒景

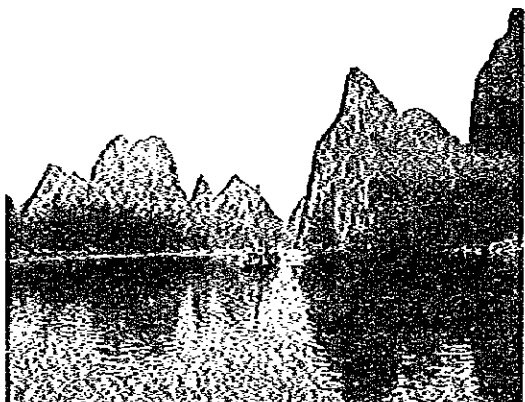
名称：黄布灘、写真番号：S a -W-2



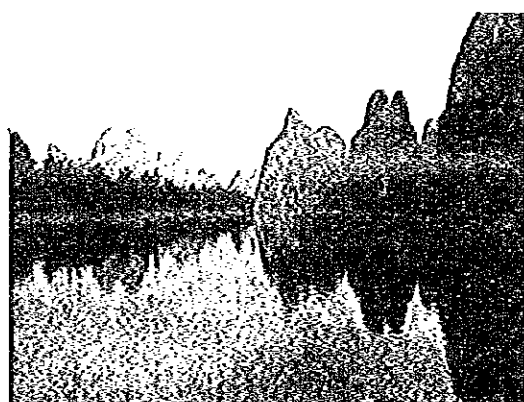
・視点-1、黄布灘の流水



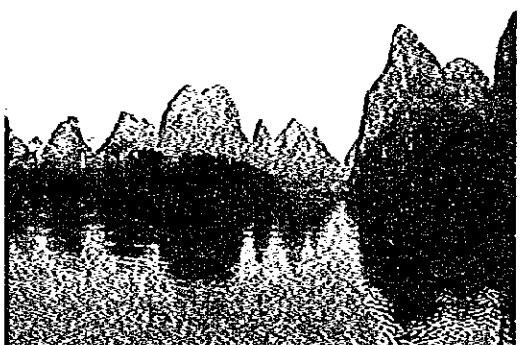
・視点-2、黄布倒景その-1



・視点-3、黄布倒景その-2



・視点-4、黄布倒景その-3



・視点-5、黄布倒景その-4(湯水期)



・視点-6、黄布倒景その-5(湯水期)

名称：大圩、写真番号：S a-C h-1



・視点-1 大圩の古榕樹

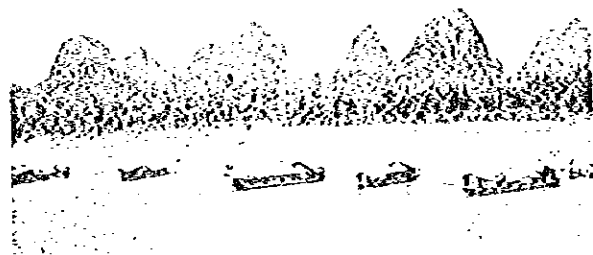


・視点-2 大圩の集落

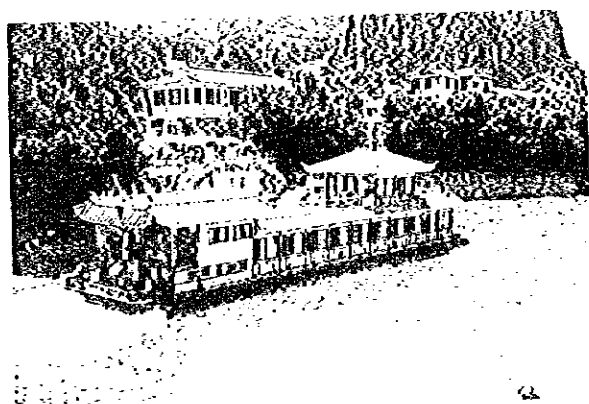
名称：陽朔、写真番号：S a-C h-3



・視点-1 陽朔下流の風景



・視点-2 陽朔周辺の風景

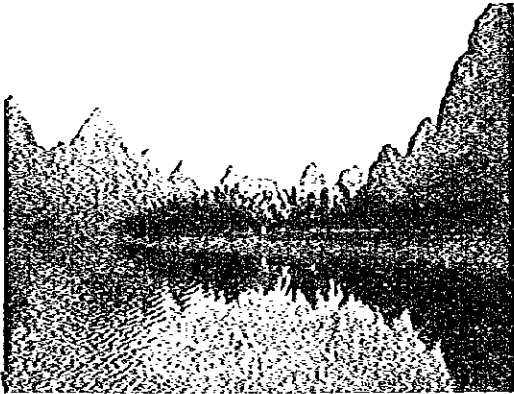


・視点-3 陽朔埠頭

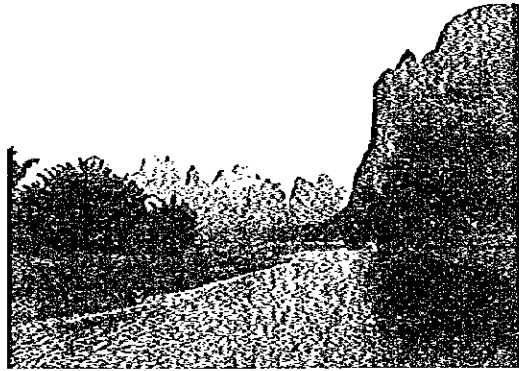


・視点-4 陽朔鎮

名称：興坪、写真番号：Sa-Ch-2



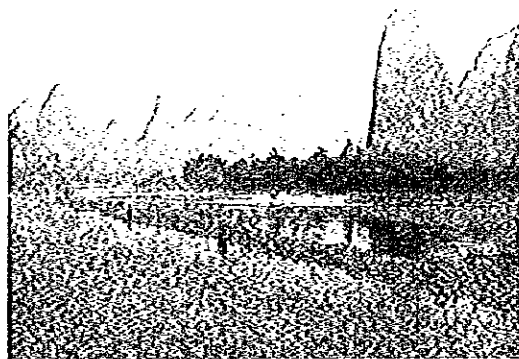
・視点-1



・視点-2 (湯水期)



・視点-3



・視点-4 (湯水期)



・視点-5 興坪町

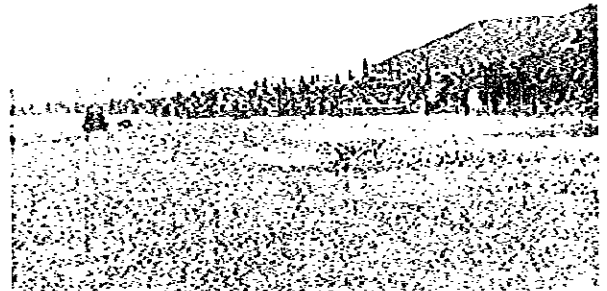


・視点-6 町と支流の橋

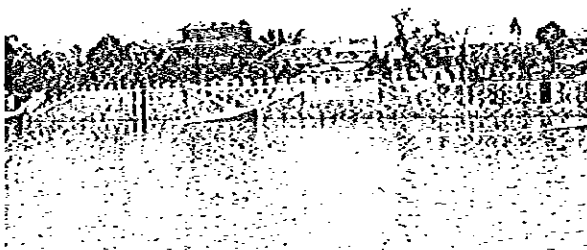
名称：竹江、写真番号：S a-O-1



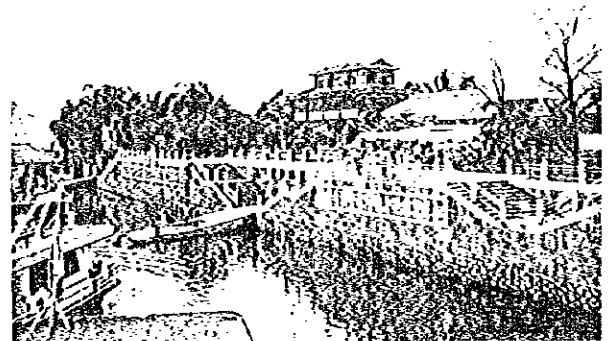
・視点-1 国内観光客の専用埠頭



・視点-2 国内観光客の専用埠頭



・視点-3 国外観光客の専用埠頭



・視点-4 国外観光客の専用埠頭

名称：桃源、写真番号：S a-O-3

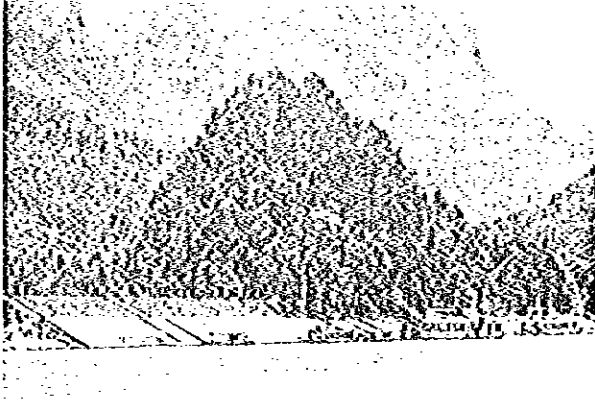


・視点-1

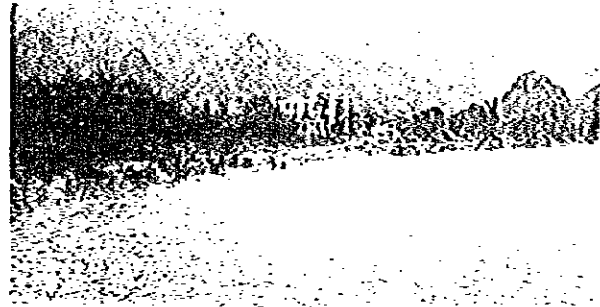


・視点-2

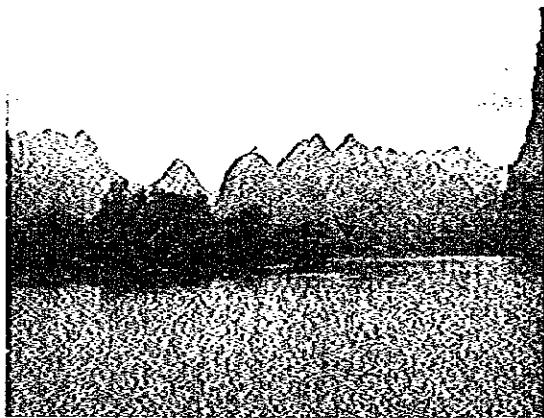
名称：草坪、写真番号：S a-O・2



・視点-1 草坪の埠頭



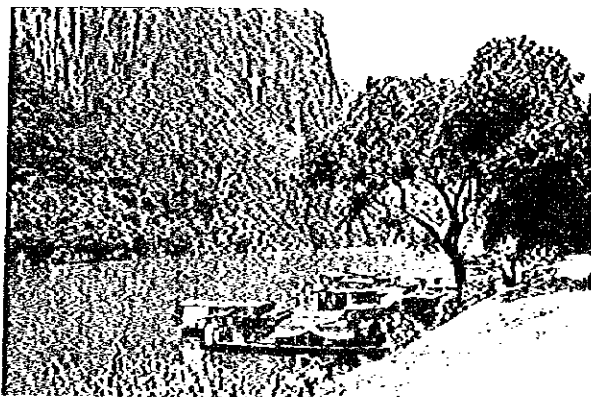
・視点-2 埠頭周辺の景観



・視点-3 草坪周辺の景観



・視点-4 住宅と景観の調和を欠ける



・視点-5 岸から漓江を見下ろす。

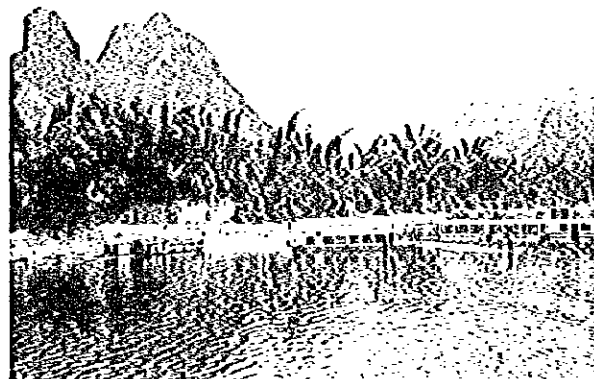


・視点-6  
郷土性が高い町の住宅

名称：楊堤、写真番号：S a-O-4



・視点-1 楊堤の風景



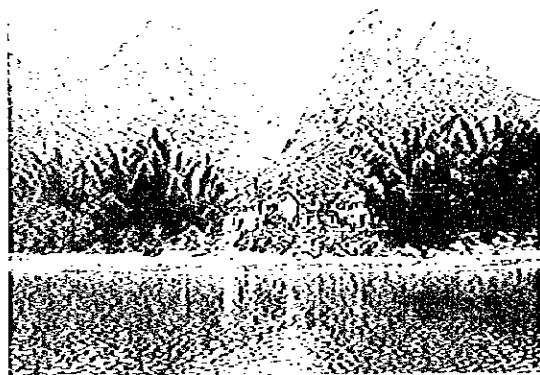
・視点-2 楊堤埠頭



・視点-3 豊水期の楊堤



・視点-4 氾水期の楊堤



・視点-5 楊堤の民家



・視点-6 羊蹄山